



防災について話し合おう！

「防災」について考えたことがありますか？

- ①家で、学校で、外出先で地震が起きたらどうする？
- ②避難するときはどうする？
- ③家で火事が起きたらどうする？
- ④風水害（台風や大雨）がきたらどうする？

災害は、私たちの大切なものをうばっていきます。
 家族や大切な人の命までうばっていきます。
 そんな悲しくて苦しい思いをしないように、

「災害から身を守るためにできるだけのことをやろう」それが「防災」です。

災害時の情報を
メールでお知らせ

「防災メール・まもるくん」への
アクセスにご利用ください。



防災とボランティア週間
毎年1月15日～21日

家族で・学校で・地域で！ みんなで防災会議を開こう！

1

避難所を確認しよう

- 避難所や家族がはなればなれになったときの連絡方法を確認しよう
- 休日に散歩をかねてみんなで避難所まで歩いてみよう
- 川のそば、せまい道、橋などはできるだけ避けて安全なルートを探そう

久留米市 避難所一覧

検索

※避難所に関する詳しい情報は…
久留米市公式HP→くらしの情報→防災・防犯・交通安全→防災情報→避難所一覧

2

家族の避難を手伝えるようにしよう

- 家族にお年寄りや病人、赤ちゃんなど一人で避難するのがむずかしい人がいたら、自分が何をしてあげられるか知っておこう

※自力での避難が困難な人は「災害時要援護者名簿」に登録しましょう
 【問合せ先】久留米市役所 地域福祉課
 電話：0942-30-9174 FAX：0942-30-9715

3

家の中の危険箇所を確認しよう

- 家具を安全に配置しよう
- 家具の転倒や落下を防止しよう
- 通路や出入り口に荷物を置かないようにしましょう

4

防災連絡表を作ろう(裏面にあるよ)

- 避難所や家族の連絡先を記入し、ひとりでも家族と連絡がとれるようにしましょう
- 防災連絡表は、見えるところに貼ろう

5

非常持出品・備蓄品を確認しよう

- ヘルメット・防災ずきん
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- 非常食(乾パン・缶詰めなど)
- 水(持ち運びに便利なペットボトル入りなど)
- 救急医薬品・常備薬
- 貴重品
- 生活用品(軍手・ナイフ・ライター・缶きりなど)

非常
持出品

- 非常食(缶詰め・レトルト食品のおかず・インスタントラーメン・チョコレートなど)
- 水(飲料水は1人1日3ℓが目安)
- 生活用品(カセットコンロ・ガスボンベ・カイロ・ラップ・マスク・生理用品など)
- 工具類(スコップ・バール・のこぎりなど)

非常
備蓄品

※家族構成に合わせた準備を！
 妊婦がいる家庭・乳幼児がいる家庭・要介護者のいる家庭

いざというときにあわてないで避難するために、避難所や家族がはなればなれになったときの集合場所、家族などの連絡先を書いておきましょう。危ない場所も書いておけば、避難するときに役立ちます。

わが家の避難所



地図

家族がはなればなれになったときの集合場所



地図

家族の連絡先

名前	連絡先(勤務先・学校)	電話番号	携帯電話

親戚やお友達の連絡先

名前	連絡先(勤務先・学校)	電話番号	携帯電話

災害用伝言ダイヤル171の使い方

171 ← 伝言を録音するときは ① → ●●●●●-●●●-●●● → 伝言を吹き込む
 被災地の人は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の人の電話番号を市外局番から入力
 伝言を再生するときは ② → ●●●●●-●●●-●●● → 伝言を聞く

携帯電話・スマートフォン災害用伝言板の使い方

各社のトップメニューから「災害用伝言板」を開く
 伝言を登録する場合 → 「登録」を選択し伝言を入力する
 伝言を確認する場合 → 「確認」を選択し、被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言を見る